

## 昼神から、地元と自然が共に輝き続けるために

昼神温泉は、これから訪れる大胆でポジティブな「リニア新時代」を機会に、地域と自然の持続可能なまちづくりから、もう一步先の未来を目指します。そのために、次の「まちづくりの三本柱」を掲げ、社会変化に伴う課題等に包括的対応をすることで、来街者の満足、村民の暮らしや生業の充実、観光分野を超えた地域の好循環など、村と周辺の長期的価値を創造します。

### まちづくりの三本柱

#### ウォーカブルな温泉まち

車中心からひと中心の空間に転換することで居心地のいい温泉街を、川辺や緑地の利活用によってぎわいをつくりあげます。そしてここから村全体への相乗効果や循環を高め、多様性とイノベーションの創出を目指します。



#### 地元子育て世代にも魅力的なまち

目指すのは、村の若い世代や将来世代も過ごし続けたいと思えるようなまちの形成。図書館・コンベンションホール・どろんこパークなど、子育て世代も安心して楽しめるサービスを充実させます。



#### 旅館のバリューアップ

社会的・文化的・環境配慮など多角的な高付加価値化や新形態に取り組むなど、宿泊施設の滞在価値向上を図り、地域の経済基盤として消費額増・再訪促進につながる事業展開を推進します。



### 三本柱を支える5つのポイント

#### 地域の顔となるシンボリックな場所

温泉街のシンボルとして、観光機能を担いつつ、村民の交流や憩いの場ともなるランドマーク施設を設置します。

#### 水辺を活かした景観形成

なしのざわ通り・阿智川・なしのざわ川を中心に再整備し、昼神温泉の豊かな水辺を活かした景観形成を行います。

#### 湯ったり～な昼神のリノベーション

老朽化やニーズの変化に伴い、リノベーションを行います。より使いやすく、時代に合った施設に生まれ変わります。

#### 駐車場の有効活用

駐車場を緑化し、足湯・飲食店・文化施設などを設置して、まち歩きの魅力あるコンテンツの場として活用します。

#### 観光動線の整備

昼神温泉のエリアの特徴を生かして、目抜き通り・プロムナード・ハイキングコースなど特色ある観光動線を整備します。

## 7つの散策エリア

昼神温泉の各地の特徴を分析することにより、7つのエリアとしてのまとまりが浮かび上がってきました。それぞれのエリアがもつ特徴を活かした、新しい昼神温泉のあり方を提案します。



#### 自然・散策エリア

温泉街を囲む山の中をトレッキングできる、自然豊かな環境の中に身を置けるエリア。

#### 旅館街・散策エリア

趣のある旅館が立ち並び、その間の路地を散策し温泉街の風情を楽しめるエリア。

#### 憩いエリア

建物が低密度で緑も多い、広がりやゆとりのあるエリア。

#### 遊び・体験エリア

どろんこパーク・グランピング施設・レストランなど、子連れのファミリーを中心に、遊んだり、昼神地域の豊かな環境を楽しめたりするエリア。

## そして世界のHIRUGAMIへ

阿智村は「日本一の星空」の村として認知されるようになってきました。ここから発展して、昼神温泉は世界に広く認知され、誰もが訪れたいと思う世界水準の温泉まちを目指します。その一環として、国連世界観光機関が形成する「持続可能な観光地づくり国際ネットワーク(INSTO)」加入を目指しています。

2023年11月23日 初版第1版発行

発行者 阿智村役場

監修 昼神温泉リニア新時代戦略等推進委員会

制作 株式会社JTB総合研究所

デザイン 米澤隆建築設計事務所+大同大学米澤隆研究室+天野百合



## 出湯から50年

この地に温泉が湧出して以降、昼神温泉は南信州を代表する観光地となりました。

今まさに直面する少子・超高齢社会、国際化、情報化の中で、私たちはこの変化を前向きに捉え、動き出さなければなりません。

今回、出湯50周年にあたり「昼神温泉リニア新時代構想」(令和2年10月策定)に則った新たなデザインイメージができあがりました。

新時代には国内のみならず「世界中から選ばれる昼神温泉」を創ることが必要です。

今こそ心躍る未来のために、村民をはじめ、関係するすべての方々で本構想を共有し、ONE TEAMによる取り組みをはじめましょう。

**昼神温泉リニア新時代構想**